

社会福祉法人 めくもり 平成29年度 事業計画書

【基本理念】

誰もが自分らしく生きられるめくもりある社会を目指す

29年度 地域生活支援センターひのき事業計画書

29年度 目標・計画

- ・外部講師、支援アドバイザーによる支援力の強化
- ・地域との交流を持つためのイベントの企画・実施
- ・既存契約者のニーズに応えるための居宅介護事業の再開及び共同生活援助事業の準備
- ・施設有効活用のための各種改修工事（EVの再稼働、照明器具のLED化など）

学習・研修の計画

- ・介護福祉職員専門法人全体研修（年12回）⇒めくもり理念の共有及び職員全体の意思統一
- ・福祉従事者研修（年12回）⇒福祉従事者（現場スタッフ）の支援力強化
- ・サビ管研修（年12回）⇒現場リーダーのケアマネジメント力の強化
- ・障がい者福祉業務研究研修（年12回）⇒目標設定及びチーム内外の連係強化

チームワーク・コミュニケーション向上の取り組み計画

- ・新人スタッフへの「3分間フィードバック」
- ・朝・終礼での感謝の共有
- ・毎月一回支援員面談（正規・非正規とも）
- ・親睦会（歓送迎会、忘年会など）
- ・支援員・利用者の誕生日のお祝い
- ・日帰り・お泊り旅行の実施（年2回。スタッフ・利用者とも）

事故防止に向けた取り組み計画

- ・終礼での「事故報告」「ひやりはっと報告」の確認と共有
- ・事故があった際の一斉メールでの迅速な情報共有
- ・公用車での送迎出発時に声掛け実施（「気を付けて」「安全運転で」など）
- ・公用車に搭載している「運行前チェックリスト」による送迎前の“自己注意喚起”の実施

その他、利用者軸の取り組み

- ・季節ごとのイベント実施（初詣、花見、プール外出、芋掘り、クリスマス会など）
- ・日帰り・お泊り旅行の実施（年2回）
- ・利用者全員の誕生会実施
- ・個別支援計画に向けた具体的な支援を行なっていく為の「個別月間目標」の策定
- ・施設内の構造化の推進

29年度に向けた意気込み

・利用者・スタッフのお互いの強み（ストレングス）を生かして自立し合った上で、ゆくゆくは“地域生活支援センターひのき”として地域のまちづくりの一翼を担えるようになるために、来年度以降以下のことを実施していきたいと考えています。

【ひのき内】

- ・お互いに自分の強み（ストレングス）を活かして自立できる場所にしていく
⇒それぞれの強み（ストレングス）を引き出せるように支援をしていく
⇒利用者・スタッフ共に、自立して自分らしく生きられるようにしていく
- ・納得してお互いに成長し合う場所にしていく
⇒みんなが納得して成長できるような支援をしていく

【“ひのき”から地域へ】

- ・利用者が地域でいきいきと活動できることを本気で目指していく
⇒利用者が家・施設だけでなく、地域社会に踏み出せるような支援をしていく
⇒障害があっても地域でいきいきと活動できるように支援していく
- ・“ひのき”がまちづくりの一翼を担えるようにしていく
⇒利用者と共に天理市の活性化（イベントや行事など）に関わり、天理市を盛り上げていく

【地域から“ひのき”へ】

- ・地域の誰をも排除せず、誰もが安心して気軽に立ち寄れる場所にしていく
⇒誰もが気軽に立ち寄れる場所にしていく
⇒障害の有無に関係なく、みんなが集まれる場所にしていく
⇒児童から老人までが安心して関わってもらえるような場所にしていく
⇒いろいろな個性の方が集まれる場所にしていく
- ・地域の人々の悩み事に当事者目線で一緒に悩み、みんなで作られる場所にしていく
⇒どんな悩み事でも“ズバッ”と解決出来たり、みんなで作られる場所にしていく
⇒障害の有無に関係なく、悩み事など何でも相談できる、人にやさしい場所にしていく

29年度 障がい者デイサービスかえで 事業計画書

29年度 目標・計画

- ・地域との繋がりを持てる仕組みを作る
- ・重心のご利用者の日々のプログラムや構造化の導入
- ・生産性のある活動の推進
- ・主体性のある支援員によるチーム力の強化

学習・研修の計画

- ・法人全体研修（12回）：ぬくもり理念を深め、職員全体の意思の統一
- ・福祉従事者研修やサビ管・サ責・主任研修（どちらも毎月一回）：福祉従事者用の研修
- ・魅力発信研修やソーシャルアクション研修（どちらも地域との繋がりを深めていく研修）

チームワーク・コミュニケーション向上の取り組み計画

- ・新人スタッフの毎日3分間フィードバック
- ・終礼での感謝の共有
- ・毎月一回支援員面談
- ・親睦会
- ・支援員誕生日祝福
- ・利用者さんも交えた親睦会

事故防止に向けた取り組み計画

- ・終礼での「ひやりはっと」の確認と記入
- ・事故があった際のメールでの迅速な共有
- ・支援マニュアルの整備で安全な支援を供給できるようにする

その他、利用者軸の取り組み

- ・季節のイベントと春と秋の遠足
- ・ご利用者誕生日に寄せ書きプレゼント
- ・支援目標に向けての具体的な支援を設定し、振り返りの質を上げていく
- ・施設内の構造化の推進
- ・生産性につながる取り組みの立案
- ・地域の方との繋がり強化

29年度に向けた意気込み

生産性のある取り組みをし、地域で活躍できる場所にしていくために何が必要なのかをスタッフ全員で検討し理解し、意思の統一を図る。スタッフ一人一人が主体的に動けるように目標を統一していく。客観的事実から根拠を持って支援が出来るようになります。根拠を持ったうえで地域への関わりを増やし、地域との連携を深めていきます。

29年度 重症心身障がい児デイサービスさくら 事業計画書

29年度 目標・計画

【さくらの大切にしたい】

『児童の可能性を信じ、自分で「えらぶ」「きめる」ことを尊重し、自ら社会参加すること、社会的な役割をもつことを応援し、児童とスタッフが共に楽しく豊かに成長する』

【目標】

『自分で「えらんだ」「きめた」「わかってもらえた」の経験を積み重ね、具体的に卒業後のイメージが持てるようにサポートしていく』

学習・研修の計画

- ・法人全体研修（毎月、スタッフ全員）
 - ぬくもり理念を深め、職員全体の意思の統一を目的とします
- ・南河内放課後支援研修（毎月）
 - 他事業所のスタッフと放課後支援についてワークをすることで、地域や制度への視野を広げて行きます
- ・ソーシャルアクション研修
 - 福祉を広い視野でとらえる（制度等の枠を外して物事を考えることができる）ようになることを目指します
- ・さくら専門職学習会
 - 医療、看護、リハビリ、発達支援に関する知識を深め、利用児童への対応力を高めます

チームワーク・コミュニケーション向上の取り組み計画

- ・昼礼・終礼の実施と内容の充実
 - 昼礼時に「感謝・ストレングス」を伝え合い、終礼でその日の支援を振り返ることでチームワークを高めています
- ・個別面談実施（毎月全員実施）
 - 毎月、正職員、パート・アルバイトスタッフと個別に面談することで働きやすい職場環境づくりを目指します

事故防止に向けた取り組み計画

- ・毎月の防災・避難訓練の実施
 - 実地訓練、防災に関する研修や学習会を毎月実施し、安全性の確保を目指します
- ・昼礼・終礼時の事故対策やひやり・はっと共有
 - 昼礼・終礼時に前日、当日の事故やひやりはっと、及び対策を共有し、再発の防止に努めます

その他、利用者軸の取り組み

【前述の目標に向けた具体的な取り組み】

- ・児童の卒業後のイメージを持つための他施設見学の実施
- ・社会資源を知るための地域探検の実施
- ・スキルアップの為の「学習会」の実施
- ・夏休みの個別支援計画の作成

29年度に向けた意気込み

対象児童が、「中高生」ということで、スタッフ一人ひとりがより専門的な知識や技術を身につけられるように学んでいき、スキルアップしていくことで、児童が自分で「えらんだ」「きめた」「わかってもらえた」という成功体験を積み重ね、その経験を元に具体的に卒業後のイメージを持ってもらい、一人ひとりの卒業後の移行支援が丁寧に行えるように支援していきます

29年度 相談支援室れんげのおか 事業計画書

29年度 目標・計画

- ・契約者数の獲得に重きを置き、人件費率 100%を切る
- ・市内の相談支援事業所の見本となる丁寧な相談援助を目指す

学習・研修の計画

- ・地域連携研修 毎月 1 回
- ・全体研修 毎月 1 回
- ・個別支援検討 毎月 1 回
- ・南河内障がい児相談支援研修会 毎月 1 回

チームワーク・コミュニケーション向上の取り組み計画

- ・行政、相談支援事業所、子ども家庭センターなどに契約者募集を伝え、営業する
- ・面談技術力アップ連続研修卒業者と連携し、サポートブックは一との作成に力を入れる

事故防止に向けた取り組み計画

- ・28年度に引き続き、週に一度のひありはっと報告と共有

その他、利用者軸の取り組み

・南河内相談支援連続研修会」に参加している南河内の相談支援従事者の方たちとも積極的に連携を図り、社会資源のチームとして「本人主体」の指揮をあげていく。(月に1度の学習会や交流会)

29年度に向けた意気込み

・「障がい児計画相談」の必要性や重要性を重く認識しながらも、報酬単価などの低さやセルフプランなどの方法もあることからまだまだ社会的に認識されていないのが現状である。「丁寧さを忘れ

ず、さらに計画数をこなしていくしかない」という思いで、今の現状を打破していく。

29 年度 法人事務局 事業計画書

29 年度 目標・計画

民間助成金獲得

外部・地域への情報発信

事務の効率化と情報の共有化

学習・研修の計画

全体研修への積極的な参加

チームワーク・コミュニケーション向上の取り組み計画

月 1 回 面談の実施

給与お手紙の実施

バースデイのお祝い

仕事の共有・見える化の実行

事故防止に向けた取り組み計画

ヒヤリと思った時点でのヒヤリハットメモの提出

会議で事故ヒヤリ報告と共有と対策

事故対策実施の結果共有

その他、利用者軸の取り組み

ファミリー通信びよびよの発行

全体研修への参加

ぬくくもりっく、ぬくもりカフェ、未就学児サークルりんりの開催

内部研修・外部研修開催の告知

各研修会場の確保と準備

29 年度に向けた意気込み

29 年度は 28 年度の反省を更に活かし、助成金の獲得や、勤怠管理の効率化のための動き、広報活動などを

どんどん行って行ければと思っています。